

診療報酬・介護報酬 同時改定 2025 年 に向けた流れを読む

勤務負担の軽減と病院と在宅の連携強化

2012 年度診療報酬・介護報酬改定においては、訪問看護、チーム医療など看護師の重要性が評価された。また、そのような看護師が働く環境を改善するため、看護補助加算による看護師の負担軽減が示された。各病院の役割や状況によって、考えるべき点は異なるだろう。本特集を、看護部として将来を見通し、何に取り組んでいくべきかを探るヒントとしたい。

入院から在宅への流れを考える — 378

診療報酬・介護報酬同時改定で示された仕組みと方策

齋藤訓子

看護管理者のための改定の読み方入門 2 — 384

地域との連携と褥瘡対策

奥村元子

看護職員の負担軽減と働きがいの両立で 地域 No.1 を目指す — 390

宮部剛実／池田恵津子／間宮直子／小山信一／
橋本尚也／松木大作／千葉晃義

看護管理者が 2025 年に向けて めざすことは何か — 395

社会保障と税の一体改革と診療報酬・介護報酬同時改定からみえること

石田昌宏